富士吉田キャンパスの思い出

1月29日、全寮制による初年次教育を行う富士吉田キャンパスで学生たちが退寮の日を迎え、1年生598人が思い出を胸に富士吉田の地を後にした。

学生たちは、4月から旗の台キャンパスと横浜キャンパスで学部ごとに専門分野の授業が開始される。

医学部1年
香川直輝

地域活動でみることができた笑顔

私は、昭和大学のSI（スチューデントインストラクター）を通して、地域交流活動に参加しています。SIは地域の方々に健康について知ってもらうための公開講座や地域イベントの運営のサポートをします。また、SIの魅力は地域との交流だけでなく、さまざまな学部学科の人と交流することができます。

私が参加したSIの中でも特に印象的だったのは「富士と湖とかかしの里」です。このSIは月に2回程度、4人でかかし食堂という子ども食堂で地域の方々と一緒に昼食をいただきます。その後別の施設に移り、子どもたちに勉強を教えたり、折り紙を折ったりして遊びます。このSIを通し、子どもに勉強を教えるのは意外に難しいことだと感じました。これは普段の大学生活では得られない貴重な経験です。

SIの活動は医師としての対話力を培う上で勉強になりました。SI活動の中で、皆さんの笑顔が素敵だったことは印象的でした。この笑顔を絶やさないためにも多くの人の健康を支えていける医師になりたいです。そして、この活動を通し、人と人との共感的コミュニケーションを学べ、多くの縁に巡り会えました。また、2年生以降も機会に恵まれればぜひ参加したいです。

香川直輝さん（右から二人目）

歯学部1年
前田萌海

富士吉田でのイベントについて

富士吉田での寮生活が始まって1ヶ月、6月末には寮祭がありました。私は、寮祭実行委員長をやらせていただき、5月の初め、右も左も分からない状態からさまざまな準備をしました。協力してくださった部門長や部門員の方々のおかげで、短い準備期間で素敵な寮祭を作り上げることができたと思います。本当にありがとうございます。

寮祭では、コンパや部活毎に模擬店を出店したり、バンドやダンスなどのイベントもたくさんあり、とても盛り上がりました。オープンキャンパスでいらしていた受験生の方々にも、寮生活の楽しさを伝えられたのではないかと思います。また、寮祭が近づくにつれて、吉田でのカップル、通称「吉カプ」も増え、二人で寮祭を回ったり、花火を見たりと幸せそうで、羨ましかったです。

12月の初めには、クリスマスパーティがありました。みんな思い思いの仮装をして楽しみました。ダンスやバンド、アカペラなど充実したイベントもあり、立食パーティもあり、終始楽しかったです。私はバンドで出演し、みんなの盛り上がっている姿を見て幸せな気持ちになりました。友達とたくさんの写真を撮り、最後のイベントとして良い思い出になりました。

前田萌海さん（上段左側）

薬学部1年
村﨑帆乃香

寮生活について

昨年4月12日、入学式が終わり、私はいよいよ始まる寮生活への不安と楽しみな気持ちの両方を持ち合わせて富士吉田キャンパスに向かうバスに乗りました。はじめは気疲れすることもありましたが、寮生活に打ち解けてきてからは心の余裕ができ楽しめるようになりました。

寮生活では友達と一緒にいる時間が長いので、勉強で分からない部分を教えあったり、医療人になろうと思ったきっかけや夢を語り合ったり、サプライズを企画してみんなで誕生日を祝ったりしました。これらの思い出は宝物です。

寮生活を通して感じたことは、人数が多い分それだけ多くの考え方、さまざまな生活習慣があるのでお互いを思いやり、配慮することの大切さです。知り合って間もない時や心に余裕のある時は、配慮できる人は多いと思うのですが、試験や実習がある時など心に余裕がない忙しい時に、人はつい周囲への配慮を忘れがちになります。私はどんな時でも周囲への心配り、配慮ができることが重要だということを寮生活から学びました。今後、寮生活での経験を活かして、人として、医療人として成長していきたいと思います。

最後に寮監さんをはじめ、食堂の方々、寮担当の先生など私たちの寮生活を支えてくださった多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

村﨑帆乃香さん（右から二人目）

保健医療学部
看護学科1年
西澤亜優

初年次体験実習を経て

私が一年間の学習のなかで印象的だったのは、初年次体験実習での施設実習です。

施設実習ではデイサービスたんぽぽに行きました。朝はスタッフさんとともに利用者さんを迎え、日中は機能訓練や入浴のお手伝いをさせていただき、利用者さんが帰宅後は施設の掃除をするなど、さまざまな体験をさせていただきました。そして施設での看護師の在り方やコミュニケーションのとり方など、多くのことを学ぶことができました。

また、失敗から学んだことがあります。私は利用者さんと良い関係を築くために、笑顔で優しい口調でお話しようと目標立てていましたが、スタッフさんが優しくさんから「もっと大きい声ではっきり話してもらわないと聞こえないよ」とご指摘をいただきました。この経験から、相手の立場に立って自分の行動を見直すことの必要性を感じました。将来、患者さんと上手に接していくためには相手にとって最善の行動は何かを意識することだと、大切なことを学ばせていただきました。

初めての実習で最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、スタッフさんが優しく積極的に声をかけてくださいました。また、利用者さんの人生経験をお聞きできたり、頑張ってねと応援してくださったりしたことが嬉しかったです。そして、実習後はとてもあたたかい気持ちになりました。

初年次体験実習を経て、関わってくださった方々のおかげで深い学びをすることができました。恵まれた環境で実習できたことに感謝し、ここで学んだことを忘れず将来に活かしていきます。

みかん収穫祭

昭和大学の冬の風物詩となりつつある「みかん収穫祭」が昨年12月12日、旗の台キャンパスで開催された。

キャンパス内に植樹されているみかんの木から収穫するこの催しも、今回で7回目となる。

寒さのなか、集まった学生には収穫したみかんと温かい豚汁が振る舞われた。

みかんを収穫する学生

みかんと豚汁の配布

生協は学園生活のパートナーです

univ. CO-OP

昭和大学生活協同組合

旗の台　3788-2322(内線)8268　アミ 3785-9729(内線)8369
吉田 0555-23-8505　洗足 3787-4432　横浜 045-985-9624